

## 近年の蓬莱祀

人々の蓬莱祀復活への想い

衰退した蓬莱祀ですが、町民の中には往年の蓬莱祀の復活を望む声があり、堂年寄りにより昭和28年に再開されました。5年後に再び中断しますが、昭和59年、当時の壮年会が住民アンケートを取って蓬莱祀は本格的に復活しました。復活に際しては古文書を基に蓬莱祀を忠実に再現しました。町内曳きまわしは、多くの人に参加できるように祭日の2月11日(祝)とされました。



### ◆ 昔の山車

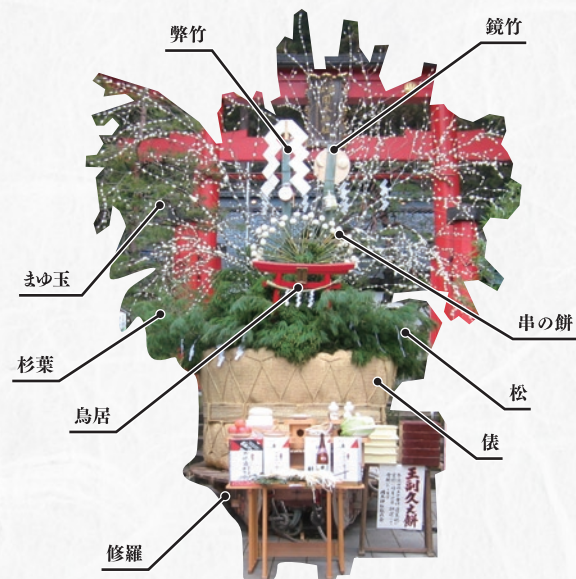
岡太神社の境内には、大正時代初期の頃よりそり形の山車模型が飾ってありました。人々に蓬莱祀を忘れないで欲しいと思い、飾られていたのでしょうか。



### ◆ 菜祀図屏風 菱川師福筆 昭和10年 岡太神社

中断期にありながら、賑やかな様子や山車の造作が隅々まで忠実に描かれています。

## 蓬莱祀の山車



### ◆ 幣竹(にぎたけ)

継体天皇を勧請した御幣を奉る。

### ◆ 鏡竹(かがみたけ)

岡太神社の尊神を勧請した鏡餅を挟む。

### ◆ 串の餅

青竹に丸餅を挿したもので、菜祀祭で堂年寄りに配られる。

### ◆ まゆ玉、餅花

養蚕や稲作の豊穡な実りを願う。串餅とまゆ玉は、どちらも神から授かったものとされ、各家の神棚などに飾られます。

### ◆ 鳥居

前側に岡太神社の鳥居、後側に玉穂宮の鳥居。

### ◆ 修羅(しゅら)

巨大な物を運ぶ木ぞりを修羅と呼び、昔の蓬莱祀は雪の上を滑らせていました。

### ◆ 音頭取り

動力が無い時代、木ぞりを力を合わせて滑らすには音頭取りの掛声と木遣り歌が動作を始める合図でした。